

2009 京都はぐるま研究会春の学習会

国語・ことばの力・学力を考えよう!

国語・文学教育の育てるもの

日時 2009年 4月25日(土) 1時から

場所 宇治久世教育会館

近鉄大久保駅から南5分です。

内容

13:00

あいさつ 倉本頼一(京都はぐるま研委員長)

実践報告

「学年で取り組んだ文学教育」

3年「モクモクの木」の学習に取り組んで。

小松伸二(京都市つづり方の会)

提起

「唇んとうの国語の学力を考えましよう。」

— 全国一斉学力調査からの分析 —

浅尾絃也(京都教育センター)

提起を受けて報告と分析

— 「6年生は学力調査をこんなふうにかえた」 —

5年前担任
山城の6年生担任

5年前担任
乙訓の6年生担任

西條昭男(京都市つづり方の会)

16:30 閉会

秋の学習会は、教科研の雑誌「教育」に掲載された浅尾論文を読み討議しあいました。全国一斉学力調査により「学力調査にあわせ点数を上げることが目的化し、国語教育が解体され、本当の学力が崩壊させられようとしているのではないか」という指摘がされました。落ち込んできている学力をどうするのか、*rigid*型学力と愛国心注入の方向、子どもの背景、状況など様々な方向から学力調査の問題点が指摘され、国語教育の現状が少しずつ明らかになってきました。今回は、学力調査が行われた直後、子ども達の様子や今年の問題から分析議論をします。

参加費500円